

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 2月 20日

事業所名 子ども療育センター

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%				
	2 職員の配置数は適切である	67%		33%	他部署からの応援、協力体制をとる事前に打ち合わせを行い、起こりうる可能性の事例を念頭に入れる	
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	100%				
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100%				
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%				
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	67%		33%		
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	67%		33%		
8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%			外部研修は全体対象としては少ないが、内部研修は機会を設けている 自己学習の足りなさもあるが、研修でも知識・能力を高めたい		
適切な 支援の 提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100%				
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%				
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	100%				
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%			同じものや偏りがないように毎月チームで検討している	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	100%			長期休暇中にはテーマを決めており、細やかな支援を心がけている	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	100%				
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%				
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%			付箋を活用して、情報共有も行っている	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%				
18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100%					
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	100%					

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	100%			
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている				該当なし
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	100%			相談員と連携を図りながら行っている
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	100%			
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	100%			
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある			100%	コロナ感染対策の為、難しい状況だった
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	100%			ZOOMを活用して行えている
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%			お迎え時に話をして共有、理解を図っている
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	67%		33%	
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している			100%	コロナ感染対策の為、難しい状況だった 今後そのような機会が設けられたら良いと思う
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	67%		33%	なかなか迅速に対応することが出来ないこともあり、課題となっている
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%			お便りが遅れてしまうこともあるが、月に1回発行することが出来ている
	35	個人情報に十分注意している	100%			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている			100%	コロナ感染対策の為、難しい状況だった

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	67%	20%		感染症対策では、健康状態の把握が良く行われているので良いと思う。防犯に関しては、私自身もしっかり周知していない	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	66%		33%	ご家族への周知が今一步の感じがあり、今後の課題	年度の初めにマニュアルを配布してみてもどうかとの意見あり
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%				
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している				特に該当者なし	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている				特に該当者なし	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%				スタッフ会議の際に、みんなで再度検討している